



○ 草の根パートナー型

平成17年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	カンボジア
2. 事業名	小学校体育科指導書作成支援プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	カンボジアでは、1970年代に続いた内戦で、施設、人材、教材等、教育システムが根底から破壊された。パリ和平協定以降、教育インフラの再建が進められているが、人間開発の根幹となる情操教育は殆ど着手できておらず、研究組織を持たぬ当該国では施設の設置に偏った教育開発を余儀なくされている。 また、国家の未来を担う子ども達に対し、適切な健康・健全教育を提供する上で最も重要な体育科は、未だ確実な授業が行われるまでに至っていない。その為、時代変化に対応可能な体育科授業の全国的な普及に向けて、「担当行政官の育成」、「統一的な授業を行うための指導要領、指導書の作成・普及」の早急な対応が望まれている。
4. 事業の目的	教育の根幹である初等教育で、体育指導に関わる人材に意識と知識を提供し、人材育成を図ると共に、国内状況を把握する為の調査手法を伝授することで指導書作成及び改訂の持続可能性を高める。 また、上記のプロセスを経て指導要領を改訂すると共に指導書案を作成し、モデル校への指導者講習会を行った後、実際に指導書案を使用した授業を行い、その調査結果を認定局へ提出し、指導書を用いた授業の実施に関する提言を行う。
5. 対象地域	モデル校地域：8州（ブノンペン、バタンバン、シアヌークビル、コンブン・チャム、コンブン・チュナン、スヴァイ・リエン、クラティエ、ラタナキリ）
6. 受益者層	間接的裨益者：体育科指導書組織・実行委員会 直接的受益者：教育調査委員会、教材認定局
7. 活動及び期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップを通じて体育科指導書作成委員会の強化及び人材の育成が図られる。 体育科指導要領の改訂と指導書の作成に必要不可欠な児童の体力水準、体育・スポーツ環境に関する調査データが作成される。 小学校体育科指導要領が改訂され、製本後、全国小学校に配布される。 新指導要領に基づいた指導書案が作成され、選抜モデル校への導入および調査を通じて報告書が作成される。
8. 実施期間	2006年2月～2008年7月（2年6カ月間）
9. 事業費	第一年度契約金額：3,884千円
10. 事業の実施体制	岡山本部担当者2名の他、カンボジアのアジア地域事務所員3名及び教育省スタッフ4名（出張・出向）が本事業に従事する。カンボジア教育省内体育科指導書作成委員会は、実施団体の日本専門指導グループと共に指導要領（シラバス、体力測定を含む）を改訂し、指導書案を作成する。また、2度の（準備・合同指導）講習会以後、導入校で指導書案を用いた授業を行い、その結果を認定局に提出し、指導書を用いた授業の必要性を提言する。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド
2. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> チャリティ・マラソン/スポーツ大会の開催支援・共催 教育省認定「スポーツを通じた指導者・青少年育成の祭典」準備指導 教育省認定「体育指導者育成合同講習会」の開催指導・支援・共催 教育省認定「青少年スポーツ祭」の開催指導・支援・共催 日本語教育、障害者・孤児支援、HIV/AIDS予防、国際理解協力 青少年健全育成「Youth to Youth」事業支援、政策提言、他